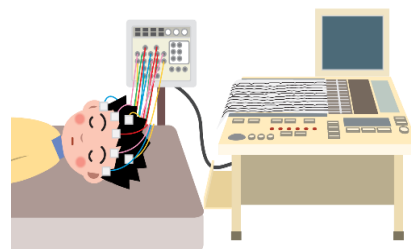


脳波検査

脳の信号を記録し、脳の働きを調べる検査です

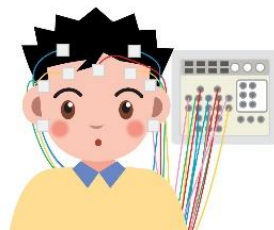
脳波検査とは

- 脳から発生する電気信号を、波形として記録する検査です。
患者様に電気を流して行う検査ではありませんので痛みはありません。
- けいれんを起こしたとき、てんかんが疑われるとき、意識障害が見られるときなどに行われる検査です。



脳波検査の流れ

- ①頭や耳たぶに電極を取り付けます。記録しやすいよう、装着部をアルコール綿等でこすります。
- ②ベッドに横になり、目を閉じて記録を開始します。
- ③検査中、各種刺激に対する反応を記録します。
 - * 覚醒時の開閉眼（合図にあわせて、目を開けたり閉じたりします。）
 - * 光刺激（ストロボスコープの閃光を、目を閉じた眼前で点滅させます。）
 - * 過呼吸（安静閉眼状態で、掛け声にあわせて、数分間深呼吸をします。）



このような波形が記録されます。異常がないかどうか、担当医に判読してもらいます。

脳波検査を受けるにあたっての留意点

- 前日は洗髪し、検査当日は整髪料をつけずにお越しください。**
ピアスや髪ゴム・ヘアピンなどは、はずして検査させていただきます。
- 脳波検査は食事の制限はありません。いつも通りで構いません。
- 検査時間は、電極取り付け→検査→取り外しまで**約1時間**です。
時間のかかる検査ですので、トイレは事前に済ませておいてください。
- 電極を付ける際、アルコール綿を使用します。
アルコール綿による皮膚トラブルの経験がある方は、予め検査担当者へお知らせ下さい。
- 検査中、光による刺激を行います。
てんかん発作のご心配のある方は、付き添いの方と一緒に来院することをお勧めします。
- 検査後、クリームを拭き取りますが完全に取り除くことはできません。
帰宅後、きれいに洗髪をお願いします。洗髪で簡単に落とすことができます。

